



発足して63年、135単位PTAで構成される熊本市PTA協議会(以下、市P協)の平成24年度定期総会が開催されました。

今年度の会員は約55、000人、熊本市が政令市となり、市P協においても、新たな一歩となる総会となりました。多数の来賓と単位PTA(以下、単P)の代表者が出席し、すべての議事は承認され、新年度がスタートしました。

総会時点では、日本PTA全国協議会への加入を申請している段階であり、加入が認められるかは、計り知れない状況のなか、市P協、単Pの活動の充実を図るための「CCPプラン」が紹介されるなど、着々と逞しくなる新たな市P協の姿がありました。

最後に、いたわりの心を持つ子どもの育成と、親も学びあい連携する環境づくりに努めていくというPTA活動の理念が高らかに宣言され閉会しました。



表彰式の様子



廣塚教育長来賓挨拶

受賞者発表

今年度は、市長表彰6人、教

育長表彰4人、市P協個人表彰8人が受賞されました。

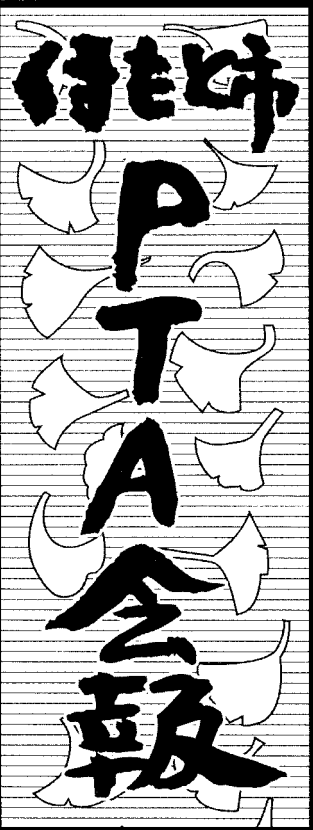
受賞者を代表して山形継司さん(前年度常任理事)から御礼の挨拶がありました。

(楠中 幸美)
(武蔵中 岩本 宗智)

さらなる活力と魅力ある政令市PTAへ

平成24年度熊本市PTA協議会定期総会

平成24年5月19日(土) 熊本市立図書館



熊本市PTA協議会
会長 上田 芳裕
編集責任者 倉光 宏一
熊本市中央区草葉町5-1
TEL(356)1122 FAX(351)2309
http://www.kumamotocity-pta.net
info@kumamotocity-pta.net
印刷：(株)キャップ
TEL(362)3333

会長あいさつ



熊本市PTA協議会会長 上田 芳裕

さらなる「強調と連帯・そして配慮」ある活動を目指して！

御礼申しあげます。

熊本市135校からPTA会長・市P担当副会長、並びに各学校長の皆様、また、廣塚教育長ほか御来賓の皆様、多数ご参加いただき、中、本定期総会が開催できますことを嬉しく思います。

平成23年度を振りかえりますと、熊本市PTA協議会(以下、市P協)の諸活動に、ご理解とご尽力をいただきさまざま活動ができましたことを厚く

しかし、これまで携わってきた県P研究大会や九P研究大会などの取り組みを、熊本県PTA連合会と、どのように連携し取り組んでいくのか、費用負担面を含め、精一杯協議してきましたが、時間的な余裕もなかったこともあり、確定には至りませんでした。平成24年度は移行準備期間として、県Pとの協議をさらに進めてまいります。

また、市P協、区P連絡会(以下、区P連)、学校単位PTAの活動をさらに充実させることを目指し「CCPプラン」という政令市Pの新規事業を考えています。CCPプランでは、「ふれあい読書研究会推進活動支援」「全保護者参加活動支援」「地域連携活動支援」「スキルアップ支援」「教育の日活動支援」「熊日PTA新聞コンクール」と6つの取り組みを考えているところであり、本総会後、新年度において更に詳細検討を行い、実施することとしております。

平成23年度を振りかえりますと、熊本市PTA協議会(以下、市P協)の諸活動に、ご理解とご尽力をいただきさまざま活動ができましたことを厚く

最後にあります。市P協・区P連での取り組みをさらに充実させることで、各単PでのPTA活動がより発展し、ひいては、子どもたちの健全育成や教育環境整備につながっていく「子どもたちのため」の取り組みとなるものと思います。各単P・更には新たにスタートしました区P連の更なる発展と、子どもたちの健やかな成長を、みんなの力で確かなものにできるよう、「強調と連帯・そして配慮」あるPTA活動をめざして参りますので、今年度市P協を支えていただく学校単位PTAの皆様に対し、引き続きご協力・ご尽力を心からお願ひ申し上げます。

育長表彰4人、市P協個人表彰8人が受賞されました。

受賞者を代表して山形継司さん(前年度常任理事)から御礼の挨拶がありました。

(楠中 幸美)
(武蔵中 岩本 宗智)

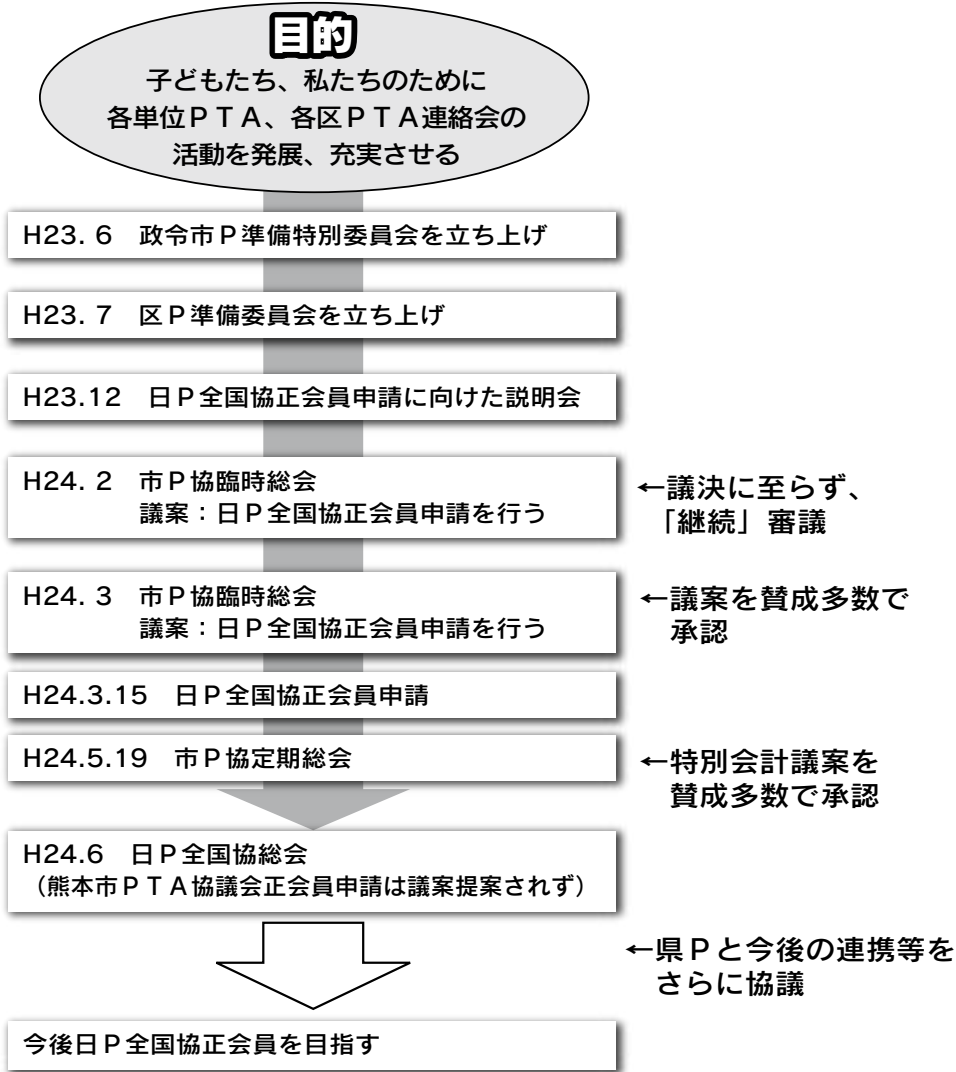
平成24年4月1日付けで、熊本市PTA連合会(以下、県P連)から発展的な独立を行うこととしています。

平成24年度 熊本市PTA協議会役員 (敬称略)



役職名	名 前	地 区	所属委員会
会 長	上田 芳裕 (白川中)	中央	
副 会 長	緒方 玲子 (出水南中)	中央	総務
	緒方 俊生 (錦ヶ丘中)	東	厚生
	松村 晋 (井芹中)	西	教養
	清田 好彦 (日吉小)	南	健安
	畑田 秀澄 (武蔵中)	北	広報
市P担当副会長部会長	山野 佳子 (湖東中)	東	厚生
会 計 理 事	江頭 隆一 (長嶺小)	東	
	下野 成人 (豊田小)	南	
専 門 委 員 会 委 員 長	阿久根祐子 (帯山西小)	中央	総務
	緒方 秀一 (桜木中)	東	厚生
	坂口 淳 (河内中)	西	教養
	坂本 隆生 (力合小)	南	健安
	倉光 宏一 (武蔵小)	北	広報
常 任 理 事	新富 浩之 (碩台小)	中央	総務
	田尻 哲也 (芳野小)	西	教養
	富盛 勝 (麻生田小)	北	広報
	竹瀨さおり (江原中)	中央	教養
	前淵 洋子 (白坪小)	西	厚生
	堀川 光江 (日吉中)	南	総務
	中山 幸美 (楠中)	北	広報
監 事	菊川 正昭 (京陵中)	中央	
	湊 一 (白坪小)	西	
市 P 事 務 局	森川 和憲 (事務局長)		
	山田 清佳 (事務局員)		
	滝本 恵子 (事務局員)		
参 与	葉師寺 孝 (小学校長会代表)		
	溜淵 孝二 (中学校長会代表)		
	井上 正文 (教育政策課長)		
	濱平 清志 (指導課長)		
	吉田 忠生 (教育政策課)		

【(社) 日本PTA全国協議会正会員申請にいたる主な経過】



熊本市PTA協議会(以下、市P協)は、熊本市の政令指定都市移行を踏まえ、本年3月13日の臨時総会で「日本PTA全国協議会(以下、日P全国協)へ正会員申請を行う」ことの決議に基づき、3月15日付けで日P全国協へ正会員申請を行ってしました。

しかしながら、日P全国協からは、熊本県PTA連合会(以下、県P連)と市P協における「この間の協議や今後の連携について協議が不足・不透明である」との判断で、本市P協からの正会員申請については、日P全国協・預かりとの判断で、本年度承認には至りませんでした。

市P協では、これまで正会員申請に向け精一杯の努力を積み重ね、また県P連とも話し合いを進めてきましたが、日P全国協の申請預かりという結果に対し、単Pの皆様、会員の皆様へお詫びを申し上げますとともに、今後の政令市PTAとして活動を高め、単P活動・区P連活動に重点を置いて取り組んでいくこととします。

今後の取り組みとして、当然ながら「正会員申請の継続」と「県P連との関わり」が課題になります。日P全国協への正会員申請は継続することを前提に、県P連と協議を重ねてきた結果、県P連・市P協とも独自の自立あるPTA活動を展開するとの方針を申し合わせています。

市P協としては、県P連での「熊本市P協の独立後の取り組み・事業の展開をスタートさせていること」も鑑み、昨年度からの

日P全国協への正会員申請「承認に至らず」
引き続き、申請継続
“政令市Pの活動強化を目指します”

方針どおり「各単P・区P連の活動を発展・充実させ、子どもたちにより良い市P協となるよう、熊本市が政令市となったタイミング・契機(平成24年4月1日)で、PTA組織においても、県P

連から独立し、日P全国協正会員を目指すこと」に全力を挙げ取り組んでいくこととします。また、県P連とも、県下PTAの新たな組織的な枠組みの下、話し合いを進めていくこととします。

今後、機会をとらえ会員の皆様に「これからの政令市PTAの取り組み」について、ご報告・ご相談させていただく予定ですが、まずは現状の報告とさせていただきます。

(会長 上田 芳裕)

県P連からの自立で

“政令市PTAの発展・充実を!”

チャレンジャー
PTAプラン
(2024年)

本年5月の定期総会において、市P協「特別会計」分であるCCPプラン等の活動と予算を承認いただきましたが、日P全国協正会員申請が預かりとなり、市P協では「活動計画と予算の更正作業」の検討を始めています。

県P連からの独立に伴い、これまでの事業展開を大きく見直し、より発展性ある充実した市P協活動の構築に努めることとします。本年度は、特に「CCPプラン」の具体的実践に向け、検討を進めており、各単P活動の充実・強化につながる支援を行うことで、市P協活動の底上げを図ることとします。

- CCPプランの主な項目は次のとおりです。
- ふれあい読書研究会推進活動支援(継承事業)
 - 全保護者参加活動支援(継承事業)
 - 地域連携活動支援(新規事業)
 - スキルアップ支援(新規事業)
 - 教育の日活動支援(新規事業)
 - 熊日PTA新聞コンクール(継承事業)
- (政令市P移行特別委員会)

6月23日(土) 熊本市青年会館

「会長研修会開かれる」

平成24年6月23日(土) 熊本市青年会館にて全体会に続き、分科会として「会長理事部会」が開催されました。そこでは単P会長が学校規模ごとに7つのグループに分かれ、グループトーク形式で、用

意されたカードに記載のテーマについて意見交換を行いました。初対面ということもあり、緊張しうまく話せない場面もありましたが、活発な意見や、情報交換を行い時間が足りないグループもありました。

同じ小学校のPTAでも地域性・伝統など様々な要因から、全く同じことをしているところはなく、取り入れたいと思ったことや、反省点などが出てきて、参加者は熱心にメモを取っていました。

その後は、会場内で連絡先等を交換している方や名刺交換をされている姿も見かけられ、単P会長同士の絆も生まれたようでした。すぐにでも、単Pの運営委員会に情報をあげ、話し合いができる程、有意義な意見交換ができた研修会でした。

(出水 才藤 昌史)
(日吉東小 村上 義徳)



緊張の中の研修開始



会長理事、市P担副会長理事の在り方として基調講演をいただいた森徳和氏



後半は大いに盛り上がったグループトーク

6月23日(土) 熊本市青年会館

「市P担当副会長研修会」開かれる

「今さら聞けない市P担当副会長の常識」をテーマに市P担当副会長理事部会が開催されました。市P担当副会長部会の役員の3人の方々がコーディネーターとなり理事を含め多くの参加者の中でテスト形式やスクリーンを使った形式で行われました。ここでは、PTA主催や地域との協賛する事業について、PTA災害見舞金の適用のあり方や、PTAが今後行う事業計画の内容について説明がありました。また、市P担当副会長アンケートの分析では、「市P担当は2年目から楽しくなり友人もできる」ことや、併せて各校区での役員決めの状況、家庭とPTA活動の両立について報告がありました。出席者からは「出合いもあり楽しく活動をしたい」との声もあり、今後の活動において大いに役立ちたいとできると実感した研修会でした。

(中島小 山本 生也)

(松尾北小 大森 千恵)



貴重な経験談を話される常任理事



1年目、2年目と分かれて着席

6月14日(木) 熊本市中央公民館

「会計研修会」開かれる

《会計処理についての実務的な研修会》

6月14日(木) 10時より、2時間半の時間を設け、中央公民館にて会計研修会が開催されました。講師に高木徳文氏(元市P協副会長)をお招きし、初級編・応用編の二部構成でご講演頂き、約120名という、多くの会計担当者が参加されました。

初級編ではまず、「誰が見てもわかる」「誰でも出来る」「透明性を保つ」という3つの条件を満たすために一般的な会計ルールを使う必要があるという説明の後、経理未経験者でも理解しやすい解説をして頂きました。現金主義のあり方や勘定科目の仕分け方など、実務に直結した内容でした。質疑応答では、常日頃疑問に感じていることに対し、アンケートをもとにお答えいただきました。

Q. 会計監査日の記載は

平成〇〇年3月31日と実際の決算日のどちらにすべきか?

A. 監査日の記載は実際に監査をした日。会計年度(4月1日～3月31日)は遵守。必ず年度末で締めること。未精算残高がある場合は、年度末日までに清算しなければならぬ。どうしてもできない場合は繰り越す。年度の日付は変えてはいけない。(会則で会計年度は限定してあるはず。)

Q. PTA会費の集金がな

かなか終わらない。何かいい方法は? また、年度末までに納入されない場合はどう処理すればいいのか。

A. 根気よく請求。場合によっては月払いにして請求を。未納の場合は記帳しない。予算額と決算額が異なるだけ。異なっても問題なし。

Q. 転校生に会費を返金

する際に、引越越し等で領収書もらえない時があるが、その場合の処理は?

A. 現金を渡した時に必ず領収書もらう。もらえなければ渡さない。返金できなかった場合、しなかった場合は何もしない。

また、単Pの会計処理で工夫した点や改善できた項目も挙げてもらいました。

- ・市P提供の会計ソフトを導入。見やすくわかりやすい決算書を作成することができた。
- ・教頭先生が昨年よりももっと協力してくださり、先生方との連携がしつかりできている。
- ・会費の集金袋(持参)をファスナー袋(在籍中6年間使用。小銭紛失防止)に変えた。

後半の応用編では、まずPTA予算編成の留意点の説明があ



満席となった研修会場



わかりやすい研修を行っていただいた講師の高木徳文氏



「ありがとう」の

気持ち

仕事で産婦人科の病院へ行った時のことです。当然、周りには生まれて間もない赤ちゃんの元気な泣き声が響いていました。そんな中、わが子が生まれた時の情景や当時私が思い描いていた夢を思い出しました。それは「健康で元気に育って、キャッチボールをしよう!」と、ごく普通ですが、私にとって楽しみな夢でした。しかし、子どもが小学校の部活に入ると「なぜこんな球が打てない? なぜ、それくらいの捕れない?」

と、子どもにきつく声を浴びせていた事も同時に思い出されたのでした。勉強やスポーツ、芸術は上達を目指すところに成長があり、そのためには厳しさも必要と思います。その中で、楽しさを見出す事、見出しでやる事も、もちろん大切な事だとも思います。一方、私自身、子どもに恵まれていることに「ありがとう」の気持ちで忘れていないか? ということです。

早いもので、子どもの9年間の義務教育も終わりが近づき、高校受験を控える今、子どもが「ただいま」と帰ってくる日常を、今一度、生まれた当時を思い出し「ありがとう」の気持ちで接する事が大切だと、改めて感じています。

(武蔵中PTA会長

畑田秀澄)

(白山小 徳山 理恵)

(泉ヶ丘小 野瀬田 隆)



グリーンボランティアの力作。西原中アサガオツリ



七宝焼き体験で保護者間の交流が深まりました。

西原中では「PTA活動の真ん中には子どもたちがいる。チャレンジする勇気を持ち、支え合い、絆を深めよう。」を合言葉に、PTA活動を展開しています。

本校は緑豊かな学校で、校木のおがたまの木や四季折々の花々が校内を彩っています。子どもたちは、学校支援ボランティアの方々の協力を得て、腐葉土や種作りから花を育て、緑のカートンや野菜作りに挑戦しています。5月にはバラ園に「西原朝顔スカイツリー」も完成しました。秋には地域交流推進事業として、育てた花をリヤカーに乗せ、高齢の方宅へ贈る「花の宅配便」を行っています。

特別養護老人ホームでの交流活動も併せ、どちらもとても好評です。

委員会活動としては、文化厚生委員会が七宝焼きなどの講習会を企画開催し、家庭での子育てを話し合いながら、保護者の交流を深めています。

本年度、子どもたちは「スリッパ並べ隊」等のボランティアセンタ―を立ち上げ、私たち保護者も朝のあいさつ運動に参加するなど、頑張る学校と子どもたちを精一杯盛り上げています。

(西原中 甲斐 あずさ)



おやじボランティアの美化作業



中庭での全校集会

隈庄小学校は熊本市南区城南町のほぼ中央に位置する、児童数478名、PTA会員数396の小学校で、本校の歴史を遡れば平成・昭和・大正・明治さらに江戸時代までにたどり着く歴史ある小学校です。

隈庄小学校では8月を除く毎月月初めに校門と南門、登校班集合同所でPTA会員が子どもたちとあいさつ運動を行います。

写真は校舎中庭での全校集会の風景です。中庭には竹馬やベンチなどが置かれて、昼休み時間など子どもたちが楽しく遊んでいます。

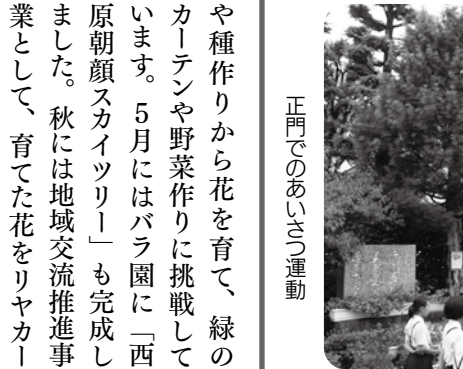
PTA活動として毎年6月第1日曜日に、おやじボランティアとして校内の美化作業を開催し、父親(母親)の力で子どもたちの学習、運動の場をきれいにし、過ごしやすい環境づくりに取り組んでいます。

(隈庄小 伊藤 恒)

- 前期編集委員(順不同/敬称略)
- 畑田 秀澄(武蔵中)
 - 中山 幸美(楠中)
 - 富盛 勝(麻生田小)
 - 岩本 宗智(武蔵中)
 - 才藤 昌史(出水小)
 - 青木 勝士(帯山中)
 - 徳山 理恵(白山小)
 - 甲斐あずさ(西原中)
 - 野瀬田 隆(泉ヶ丘小)
 - 大森 千恵(松尾北小)
 - 山木 生也(中島小)
 - 村上 義徳(日吉東小)
 - 伊藤 恒(隈庄小)

「PTAは、頑張る学校と子どもたちの応援団」

【西原中学校】



正門でのあいさつ運動

日本一となりました。卒業生を1万本の花で送り出す「種苗サクラソウ、パンジー、ビオラ大作戦」、夏の校舎を彩る「クリーンカーテンと2千本向日葵花壇」や毎朝2百人を超える生徒による校舎内外の清掃及びあいさつ運動、全校生徒による日々の緑化活動など、多彩な活動を展開しています。このように、学校生活のあらゆる面で、生徒の主体性を生かした環境教育、心を育てる教育に取組んでいます。帯山中PTAは、このような環境美化や緑化活動をはじめ、あいさつ運動、交通安全指導、学校行事の支援、バ

子どもたちとあいさつ運動を行うなっています。また、6月には5年生と1年生共同でもち米の田植えを行い、10月に収穫し12月にそのもち米を使い収穫祭を開催し、クラス単位に分かれ白と杵で餅つきを行なっています。児童はもちろん保護者や地域のおじいちゃん、おばあちゃんの参加もあり大変楽しい行事の一つです。

写真は校舎中庭での全校集会の風景です。中庭には竹馬やベンチなどが置かれて、昼休み時間など子どもたちが楽しく遊んでいます。

PTA活動として毎年6月第1日曜日に、おやじボランティアとして校内の美化作業を開催し、父親(母親)の力で子どもたちの学習、運動の場をきれいにし、過ごしやすい環境づくりに取り組んでいます。

(隈庄小 伊藤 恒)

「全国緑化コンクールで日本一」

【帯山中学校】

帯山中は生徒の心を育む教育の一環として「人が環境をつくり、環境が人をつくる」をテーマに平成17年度から生徒が主体となり、保護者や地域も協力する環境緑化活動を続けてきました。熊本市学校環境緑化コンクールで平成22年度に「つばき賞」を、平成23年度に「熊本市賞」を受賞しました。また、同年度に第63回全国植樹祭学

ザーの開催など多彩な場面で地域と共に積極的に参加し協力を行っています。

(帯山中 青木 勝士)



東バイパス道守花壇

子どもたちとあいさつ運動を行うなっています。また、6月には5年生と1年生共同でもち米の田植えを行い、10月に収穫し12月にそのもち米を使い収穫祭を開催し、クラス単位に分かれ白と杵で餅つきを行なっています。児童はもちろん保護者や地域のおじいちゃん、おばあちゃんの参加もあり大変楽しい行事の一つです。

写真は校舎中庭での全校集会の風景です。中庭には竹馬やベンチなどが置かれて、昼休み時間など子どもたちが楽しく遊んでいます。

PTA活動として毎年6月第1日曜日に、おやじボランティアとして校内の美化作業を開催し、父親(母親)の力で子どもたちの学習、運動の場をきれいにし、過ごしやすい環境づくりに取り組んでいます。

(隈庄小 伊藤 恒)

- お知らせ
- 8月 4日(土) 午後 第42回熊本市PTA協議会ソフトバレーボール大会
 - 9月 3日(月) 朝 熊本市PTA協議会一斉あいさつ運動
 - 11月10日(土) 午後 熊本市PTA研究大会
 - 1月 7日(月) 朝 熊本市PTA協議会一斉あいさつ運動